



すまいるん vol.66



社会福祉法人 済生会
済生会熊本福祉センター

就労継続支援A型・B型
済生会かがやき
就労継続支援B型
生活介護
済生会ほほえみ
就労継続支援A型・B型
済生会ウイズ

幼保連携型 認定こども園
済生会しらふじ子ども園
児童発達支援センター
済生会なでしこ園
済生会グループホーム事業所
済生会熊本福祉相談支援センター
熊本市障がい者相談支援センターさいせい
熊本県地域生活定着支援センター

こんにちは!!済生会熊本福祉センターです。

私達の福祉センターは、認定こども園、児童発達支援センター、地域生活定着支援センター、障がい福祉サービス事業所で構成されています。

園児・利用者・従業員・職員総勢約620名が毎日『すまいるん』で頑張っています!!

済生会熊本福祉センターの理念及び基本方針

理 念 一人ひとりを尊重し、共に生きる社会の実現をめざします。

基本方針 ・ライフステージに応じた自立を支援します。
・専門性と施設機能を活かし、地域社会に貢献します。
・利用者主体の福祉を実践します。

研修報告

7月12日(火)、新卒1～2年目職員を対象にフレッシュマン研修を開催しました。ブレインスター田木先生を講師にお招きし、社会人としての心得や職場のマナーについて講義、グループでの意見交換や発表などを行う有意義な1時間となりました。参加者からは「2年目だけど改めて勉強になった。」「同年代とのコミュニケーションの場となって良かった。」などの意見が上がりました。



7月20(水)、21(木)、22(金)、27(水)日にはハラスメント研修を開催。ブレインスター手塚先生、田木先生をお招きして管理者向け、一般職員向けと分けて行ないました。ハラスメントに関する法体系や類型、特にパワハラでは具体的な事例について教えて頂きました。パワハラなどハラスメントのない職場を目指して、センター職員みんなが共通理解ができる良い機会となりました。



研 修 会 特 集



熊本市西区障がい者福祉ネットワーク会議

熊本市の委託を受け「熊本市障がい者相談支援センターさいせい」では、地域の障がい福祉に関わる機能強化の取組みとして、担当圏域である西区の行政、特定相談支援事業所などを含め、障がい福祉ネットワーク会議の企画・開催をしています。

2022年度第1回目は、自立支援協議会の専門部会である「精神障がい者地域移行支援部会」で地域診断をした結果、地域の受け皿であるグループホームから精神障がい者の対応の悩みが聞かれました。その為、部会と連携し、西区にあるグループホーム事業所にも参加を依頼し、桜が丘病院の臨床心理士の方から「統合失調症の特徴の理解と対応について」講話を頂きました。その後、グループワークを行い、日頃の対応での悩みや支援においての工夫など共有する機会を設け、日頃の思いの共有を図りました。

今回は新型コロナ対策として、オンラインでの開催となり参加した方から十分に意見を聞けない部分もありましたが、事業所との連携を図るうえで貴重なご意見を頂く良い機会となりました。今後の会議の運営等に活かしていきたいと思っています。



就 労 体 験 会



ほほえみ体験会

7月30日(土)に「ほほえみ体験会」を実施しました。当日はコロナウイルス感染対策の徹底を行いながら、支援学校の生徒、保護者4組が参加されパン作り体験や生活介護の普段の様子(制作・健診セット作業・エコ活動)を見学していただきました。パン作りでは生地を丸める、切る、伸ばす等、様々な工程を体験され、親子で協力してアンパンマンの顔を完成させることができました!

生活介護ではプラ板制作を体験され、完成したものはお土産として持ち帰っていただきました。参加者からは「パン・ピザ作り楽しかった!」「学校の先輩の姿もみられて良かったです」等と感想をいただきました。今回の経験が将来の進路候補の一つになれば幸いです。





卒園ママとお話会

済生会なでしこ園

なでしこ園では、毎年6・7月に就学に関する勉強会を行っています。今回は、その一つとして行われた「卒園ママとお話会」をご紹介します。新型コロナウイルス感染防止対策として、できるだけ広い空間を確保するために、白藤ニュータウン公民館を地域の方々よりお借りし開催することができました。久しぶりに会う卒園ママとの再会や、一番気になる卒園児さんの最近の様子をじっくりと聞かれる保護者の方々を見ると、感染対策を講じながら、どうにか開催でき本当に良かったと感じたところでした。

「何が決め手で現在の学校を選択されましたか?」「入学までに大変だったことは?」「友達とのトラブルはありませんか?」在園児保護者さんのそんな質問に詳しくお答えいただくも、その雰囲気はとてもたくましいママたち。「大丈夫。子どもたちが成長してくれるよ!!」と背中を押してくれる一言も!!

今回は、場所の提供と併せて「是非地域支援に役立てたい」と一緒に参加して下さった民生委員の方々も、そんなお母さん方の学び合い・支え合いに暖かい気持ちになったとご感想を添えてくださいました。ご協力いただきました卒園児保護者・民生委員の皆様にお礼を申し上げます。ありがとうございました。

はじめましてSDGs!

済生会かがやき



ベーカリー&カフェ オリーブ（済生会熊本病院内）では、SDGsに取り組んでいます。店内でお渡しするストローは竹由来の製品で作られた環境にやさしい商品を使っています。

このmodo-cellストローは土に埋めて半年後にはポロポロになり土に戻る事ができるのです。

これから小さい事から始めて、食品ロスにもならないようにパンの販売努力も行なっています!!

また、家庭用としてもストローの販売（30本入り 税込み330円）も行っておりますので、興味がおありの方は

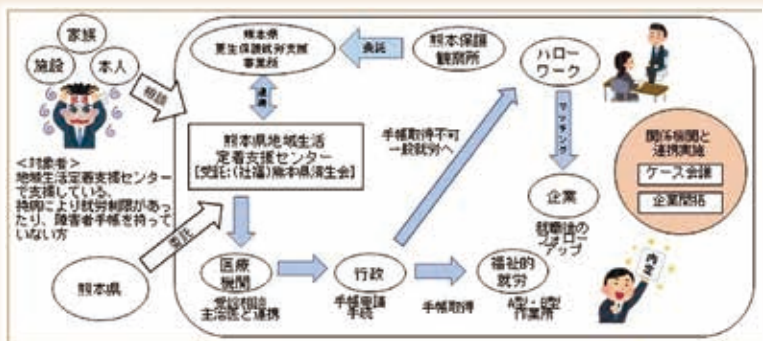
ぜひ一度オリーブまでおいでください。
おまちしております。



矯正施設等退所者 就労支援事業

地域生活定着支援センター

地域生活定着支援センターでは、「矯正施設等退所者に対する就労支援事業」を新たに受託し、2022年8月より業務開始となりました。この事業は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の成立を受け、コロナ禍で求職活動が難航し福祉的支援を必要とする矯正施設を退所した方に対し、伴走型の支援を行い、早期就労と生活安定を目指すものです。当センターで支援する方の多くは、罪を犯したという経歴から、なかなか就労が難しく、生活保護を受給することが多い現状にあります。しかしながら、地域で更生するためには、社会での居場所と活躍の場所は欠かすことはできません。これまでも当センターでは、ハローワークと連携した就労支援を行ってまいりましたが、この事業で常勤の相談員を設置することで、より充実した就労支援が可能となりました。一人でも多くの方が就労できるよう、熊本保護観察所、熊本県更生保護就労支援事業所等の関係機関と連携しながら、支援に取り組んでいきたいと思っています。



福祉センター食堂の 食器が新しくなりました。

済生会ウイズ

長年愛用していた食器を6月よりリニューアルしました。

ご飯茶碗は、白いご飯が引き立つように内側がオレンジ色になっており、葉っぱ型のお皿は、カレーやパスタを、赤い丼には麺類と、バリエーション豊富になりました。また、メインの大皿は、楕円形の白いお皿になって、イメージが変わりました。料理は見た目も大切な要素のようです。より皆さんが楽しんで食べてくれるような食事を目指していきたいと思っています。



お泊り保育

済生会しらふじ子ども園

8月5日（金）～6日（土）に、年長児の「お泊り保育」が行われました。

当日は曇り空で、野外活動をするにはピッタリの気候でした!まずは、江津湖で遊びます!小エビや小魚、ザリガニなどを見つけるたびに喜びの声が上がっていましたよ。その後、お泊りする施設「雑草の森」に到着して、昼食はお母さんが作ってくれた「ばくだんおにぎり」です。食べてパワーアップした子どもたちは、スイカ割りをしたり、スポーツチャンバラをしたり様々な活動を楽しみました。夕飯の準備では、男の子が「まき割り」をする間に女の子が「カレーの材料切り」をして、とーっても美味しいカレーが出来ました!お家の人と離れて、お友だちや先生たちと過ごすことができ、帰ってきた子どもたちの表情は達成感でいっぱいでした。自信をつけた子どもたちのこれからの成長も楽しみです!



ほほえみ夏祭り

済生会ほほえみ

8月6日（土）、ほほえみ夏祭りを行いました。今年も新型コロナウイルス感染防止の観点から施設内のホールを利用して、消毒や換気に配慮しながら開催しました。午前中には射的やひもくじ、お面釣りなどのゲームをし、待ち時間にはカラオケや輪投げを楽しみました。お面にはいろいろな種類があり、皆さんお気に入りのお面を選ばれていました。昼食後には福引きで豪華賞品を獲得されるなど、規模を縮小した中でも笑顔溢れる楽しい夏祭りとなりました!



地域との交流(廃品回収への参加)

済生会
グループホーム事業所

去る5月8日（日）、銭塘小学校の廃品回収にグループホームも協力参加をさせていただきました。

鎌賀リーダーをはじめ各グループホーム世話人さんの声掛けにより、段ボールや新聞紙、空き缶、空き瓶を中心に沢山の収集が出来ました。当日は地域の子供達・保護者の皆様が運んで下さりPTA活動費として活用されるそうです。今後も地域の皆様に少しずつでも貢献できるグループホームでありたいと思います。



発行所

済生会熊本福祉センター

発行責任者 宮川 栄助

編集 広報委員会

熊本市南区内田町3560-1

TEL 096-223-3330

FAX 096-223-3429

<https://www.sk-fukushi.jp/>

